

自然環境変動と農業生産

チッソ旭肥料株式会社

副社長 佐藤 健



新年明けましておめでとうございます。

平成16年の念頭に当たりご愛読者皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。

昨年は日本経済が低迷している中で株や為替の大幅な変動がみられ、経済の回復基盤が何かと振り回されている感がありました。また自然界では北海道東部地区での台風による大被害発生や地震により北海道と宮城県北部での激甚災害発生となり、まさに私たちの生活環境の変動が例年になく慌しく大変な年でありました。加えて夏季の低温と日照不足により、特に水稲作では10年振りの未曾有の作柄不良となり、米不足や米価への跳ね返りとなり消費者にも不安と負担を与える結果となりました。その他の一般作物も収量、品質、味などに悪影響が出て、まさに食糧生産者と消費者の双方が大きな被害を被った平成15年だったといえます。

昨年の自然環境変動の体感を通して、食糧生産の大変さと食糧確保、特に米の適正量備蓄の大事さをあらためて痛感させられたといえます。農作物生産者は自然環境変動の中で収量品質の安定を追求しなければならない厳しさに加え、消費者が求める「食の安全安心」への対応として栽培管理責任が重くのしかかってきています。「百姓の来年」という言葉がありますが、平成16年は自然環境が安定し、平年並み以上の農作物ができることを期待したいものです。

弊社はコーティング肥料のパイオニアとして省

力施肥栽培や環境問題への対応効果が大きい「ロング®」「LPコート®」を製造販売してまいりました。諸先生方によるコーティング肥料を用いた研究成果も各所で花を咲かせており、特に基肥重点施肥による省力栽培、肥料利用率向上による減肥技術など、更には根圏施肥や接触施肥などの新施肥技術が水稲や野菜栽培で普及拡大しつつあります。弊社は今後とも農家の需要への対応と環境問題への対応をしっかりと行うことにより皆様にご愛顧頂けるよう努力してまいります。

また、当社は機能的特徴がある緩効性窒素肥料「CDU®」、硝酸系高度化成「磷硝安加里®」、泡状高度化成「あさひポーラス®」、打ち込み肥料「グリーンパイル®」、育苗資材「与作®」など各種農作物や園芸関係などに幅広く対応できる商品を販売しておりますが、更に皆様の需要にお応えできる商品や施肥技術を開発したいと考えておりますのでご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

本誌「農業と科学」は諸先生方のご執筆と毎月ご愛読頂いております多数の皆様にご支えて頂いて30年以上の歴史ある刊行物となり、且つ参考文献としての評価も頂いております。

本年も農業の各種場面で参考にして頂ける内容の工夫を編集部一同努力してまいりますので、皆様のご執筆とご愛読のご支援ご指導も賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。